

参加意思確認公募手続実施理由書

案件名：安威川流域下水道 中央水みらいセンター 脱水外電気設備更新工事

本工事は、中央水みらいセンターの脱水設備の更新に伴う電気設備（運転操作設備等）の更新、汚泥貯留設備の新設に伴う電気設備（運転操作設備等）の新設及びそれらに伴う既設監視制御設備の機能増設を行うものである。脱水設備及び汚泥貯留設備については、汚泥処理設備で密接な関係があり、一体不可分であるため、一連の汚泥処理監視制御システムを構築する必要がある。

本水みらいセンターにおける脱水設備を始めとする既設汚泥処理監視制御システムは、システム構成や各機器とのインターフェイス、データ伝送に伴う信号処理方法などに関して、製作会社が独自に開発設計した制御技術、信号処理技術が採用され、要求性能を満足するように製作されている。これらのことから機能増設を実施する際には、各機器とのインターフェイス等の非常に高いレベルのシステム設計及び装置の製作能力が要求される。更に設置後は、既設設備を含めたシステム全体の機能動作確認を行う必要がある。

したがって、本工事を施工するにあたっては、当該システムの設計、製作において、その機能、構造に精通していることが必要な上、当該システムの詳細な設計資料及び専門知識など特別な能力が必要である。

以上のことから、本工事を施工できるのは当該システムの設計、製作、据付を実施した株式会社東芝より事業承継されている東芝インフラシステムズ株式会社が唯一施工可能な業者であると考えているが、同社以外に本工事を施工可能な業者がいないかを確認するため、参加意思確認公募手続を実施したい。

また、同社関西支社から徴取した見積もりが予定価格内であり、且つ参加意思確認公募手続を実施し、応募要件を満たす参加希望者（施工可能な業者）がいない場合にあっては、地方公営企業法施行令第21条の13第1項第2号の規定により、同社関西支社と随意契約を締結したい。